

もう一度考えてみよう！ 松河戸区会(自治会)

自治会に入っても「得にならない」「面倒である」「メリットが見えない」と感じる人が増加して、「加入率の低下」や「役員の担い手不足」を招いています。

この背景には**少子高齢化、定年延長、単身世帯の増加**など、私たちを取り巻く社会環境の変化がありますが、特に松河戸区では、区画整理による**新旧住民異動・世代交代**などが大きくかかわっています。

しかし、何よりも私たちの自治会に対する理解不足があります。

○ 自治会とはなんぞや？、今をときめくAIに聞いてみました。

自治会とは、地域住民が自主的に組織し、安心・安全で住みよい地域社会をつくるために活動する住民自治組織のことです。

自治会がなくても日常生活は送れますが、市(自治体)だけでは補いきれない部分、例えば、防災において「自助」「共助」「公助」という言葉をよく使いますが、大災害時には最終的には市や消防、警察、自衛隊の救助(公助)を待ちます。

「公助」を待つ間、自分の命は自分で守る(自助)、そして、自治会の自主防災組織(共助)で初期災害を防ぐことが必要となってきます。

大災害時には「公助」を待っても直ぐには来てもらえません！

自治会の主な活動内容について整理してもらいました。

- ・ 環境整備：道路や水路の清掃、ごみ集積所の管理、美化活動（ゴミステーションの設置・管理・運営）
- ・ 防災・防犯：自主防災訓練、防犯灯の設置や維持管理（防犯灯・カメラの設置・管理・運営）
- ・ 地域交流：夏祭り、運動会、敬老会などのイベントを通じて住民同士の交流を促進
- ・ 行政との連携：行政からの情報伝達や要望活動の窓口となる
- ・ 福祉活動：募金活動や高齢者支援など、地域福祉の推進

○ 松河戸区会(自治組織)がなくなったら町はどうなるか？、AIに想像してもらいました。

公園の様子

区会が正常に機能した場合

区会が機能しなくなった場合



笑顔、整備された環境、そして地域の活気が感じられます



防災訓練が行われていた公園が、今では放置され、ゴミが散乱し、雑草が生い茂る荒れた空間となっています。

掲示板、ゴミステーションの様子

区会が正常に機能した場合

区会が機能しなくなった場合



整備された掲示板と清潔に管理されたゴミステーションが並ぶ、地域の秩序と配慮が感じられる。



掲示板は古びたチラシが風雨にさらされて破れたまま放置され、隣接するゴミステーションではゴミ袋が破れて中身が散乱し、カラスが周囲をうろついています。雑草も生い茂っています。

夜の住宅街の様子

区会が正常に機能した場合



安全・清潔・人のつながりが感じられる理想的な夜の住宅街の姿が感じられる。

区会が機能しなくなった場合



夜の路地に壊れた防犯灯が立ち、周囲は暗く、雑草が生い茂り、建物は影に沈み、不安な雰囲気が漂う。

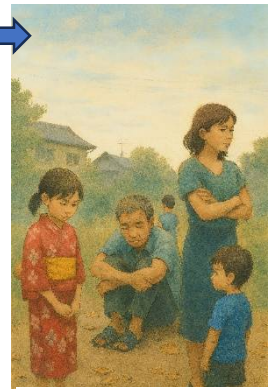
地域交流の様子

区会が正常に機能した場合



地域交流の場としてのイベントが活発に行われ、共同体の再生と活気に満ち溢れている。

区会が機能しなくなった場合



共同体意識の希薄化と孤立の現実

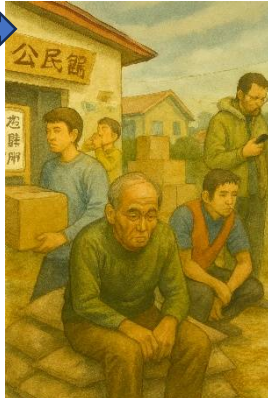
災害時の様子

区会が正常に機能した場合



避難所となった公民館の前で、地域住民が協力して物資を運んだり、炊き出しをしたり、高齢者に毛布を渡したりするなど、自主防災組織が機能している。

区会が機能しなくなった場合



住民の協力がまったく見られず、個々が勝手に動くことで、被害が拡大する。
共助の欠如

住宅街の様子

区会が正常に機能した場合



町には花が植えられ、道路は整備され、きれいな町並みが維持されている。

区会が機能しなくなった場合



雑草が茂り、側溝は外れ、道路はひび割れが目立ち、回収日でもないのにゴミ袋が置いてある。

より住みやすい町にすることが、区会の目指す方向です。



自治体が機能している町



自治会が機能していない町

松河戸区会(自治組織)を崩壊させないよう 皆で守りましょう。